



2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 HOYA株式会社

コード番号 7741 URL http://www.hoya.co.jp

代表者 (役職名) 代表執行役CEO (氏名) 鈴木 洋

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役CFO (氏名) 廣岡 亮 TEL 03-6911-4825

四半期報告書提出予定日 2018年11月2日 配当支払開始予定日 2018年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家様向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上収益 | | 税引前利益 | | 四半期利益 | | 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益合計額 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|------|-------------------|------|------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 280,909 | 6.8 | 73,625 | 16.1 | 59,720 | 14.9 | 59,838 | 14.4 | 77,285 | 19.4 |
| 2018年3月期第2四半期 | 262,930 | 14.3 | 63,416 | 17.6 | 51,960 | 21.4 | 52,285 | 22.3 | 64,706 | — |

| | 基本的1株当たり 四半期利益 | 希薄化後1株当たり 四半期利益 |
|---------------|-------------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 157.64 | 157.32 |
| 2018年3月期第2四半期 | 134.81 | 134.47 |

（2）連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に帰属する持分 | 親会社所有者帰属持分比率 |
|---------------|---------|---------|----------------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 717,197 | 591,800 | 587,057 | 81.9 |
| 2018年3月期 | 650,645 | 530,677 | 526,193 | 80.9 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 30.00 | — | 45.00 | 75.00 |
| 2019年3月期 | — | 45.00 | — | — | — |
| 2019年3月期（予想） | — | — | — | — | — |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2018年10月31日）公表いたしました「剰余金の配当（第2四半期末配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

当社の配当金は、最終利益確定後、今後の設備投資や研究開発あるいは企業買収等の資金需要とのバランスを考え、その時点の株価の動向や経済環境等を考慮に入れながら決定するため、配当予想は未定とさせていただきます。中間配当金は、10月下旬または11月上旬の第2四半期連結累計期間の決算発表時に公表し、期末配当金の予想は4月下旬または5月上旬の期末決算発表時に公表します。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（注）当社は、第1四半期（4月1日より6月30日まで）の決算発表時（7月下旬または8月上旬）に第2四半期連結累計期間の連結業績予想を公表し、第3四半期（10月1日より12月31日まで）の決算発表時（翌年1月下旬または2月上旬）に通期の連結業績予想を公表しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期2Q | 381,436,420株 | 2018年3月期 | 381,436,420株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期2Q | 1,740,964株 | 2018年3月期 | 1,922,074株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年3月期2Q | 379,585,156株 | 2018年3月期2Q | 387,851,475株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社グループは2010年3月31日に終了する連結会計年度にIFRSを初めて適用し、当連結会計年度及び前連結会計年度の連結財務諸表につきまして、国際会計基準に準拠して開示しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
3. 当社は、2018年10月31日（水）に証券アナリスト・機関投資家様向け連結決算説明会を開催する予定です。説明会の資料は、本日、東証への開示に合わせて当社ホームページにて公開しております。また、説明会の概要を後日当社ホームページにて公開いたしますので、ご利用ください。

○添付資料の目次

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | 4 |
| (2) 要約四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 第2四半期連結会計期間 | 8 |
| (3) 要約四半期連結持分変動計算書 | 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 12 |
| (5) 会計方針の変更 | 12 |
| (6) セグメント情報 | 13 |
| (7) 重要な後発事象 | 15 |
| (注) 当社は、下記のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。説明会の資料は、本日、東証への開示に合わせて当社ホームページにて公開しております。また、説明会の概要を後日当社ホームページにて公開いたしますので、ご利用ください。 | |
| 2018年10月31日（水） | 証券アナリスト・機関投資家様向け連結決算説明会 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①全般の状況

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から同年9月30日までの6ヶ月間)における世界経済は、米国の景気は拡大が続いているものの、欧州・中国では景気が減速しており、地域によって経済成長の明暗が分かれました。日本経済についても景気が減速しつつあります。米国政府が保護主義的姿勢を強め世界各国との貿易摩擦が生じていることから、世界経済に対する影響が懸念されております。

そのような環境のもと、当社グループのライフケア事業については、ヘルスケア関連製品のメガネレンズ、コンタクトレンズともに増収、メディカル関連製品においても医療用内視鏡、白内障用眼内レンズで増収、ライフケア事業全体で売上収益は対前年同期(2017年4月1日から同年9月30日までの6ヶ月間)で増収となりました。

情報・通信事業については、エレクトロニクス関連製品の半導体用マスクブランクス、液晶用フォトマスク及びハードディスク用ガラスサブストレートが増収となりました。また、映像関連製品も増収となりました。これらにより、情報・通信事業全体では、売上収益は対前年同期で増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は2,809億9百万円と、対前年同期で6.8%の増収となりました。

利益については、当第2四半期連結累計期間の税引前四半期利益は736億25百万円、四半期利益は597億20百万円となり、対前年同期でそれぞれ16.1%、14.9%の増益となりました。

税引前四半期利益率は26.2%となり、前年同期の24.1%より2.1ポイント上昇しました。

なお、当第2四半期連結累計期間、前年同期ともに非継続事業はありませんので、表示の数値及び増減率は全て継続事業によるもののみであります。

②報告セグメントごとの状況

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。(各セグメントの売上収益は、外部顧客に対するものであります。)

(ライフケア事業)

<ヘルスケア関連製品>

メガネレンズは、日本においては前年同期並みの売上収益を確保しました。海外市場においては、米州において既存事業の伸長に加えて、Performance Optics, LLCを買収した効果により伸長し、全体の売上収益は対前年同期で増収となりました。

コンタクトレンズは、専門小売店「アイシティ」の新規出店、既存店の強化による新規顧客の拡大を図ったことで、売上収益は対前年同期で増収となりました。

<メディカル関連製品>

医療用内視鏡は、販売体制の強化により欧米において堅調に推移したことで、売上収益は対前年同期で増収となりました。

白内障用眼内レンズは、日本においては堅調に推移しております。海外においては競争力の高い製品Vivinexが貢献し売上収益は対前年同期で増収となり、全体の売上収益も対前年同期で増収となりました。

この結果、当セグメント(ライフケア事業)の売上収益は1,831億89百万円と、対前年同期で7.2%の増収となりました。セグメント利益(税引前四半期利益)は343億64百万円と、対前年同期で20.2%の増益となりました。

(情報・通信事業)

<エレクトロニクス関連製品>

最終製品であるパソコンやタブレット市場は飽和状態が続き、スマートフォン市場は成長が鈍化しています。しかしながら当社の半導体用マスクブランクスは、先端品における活発な研究開発需要を取り込んだことで、売上収益は対前年同期で増収となりました。

液晶用フォトマスクは、主にスマートフォン向け液晶における研究開発需要の回復や成長の続く中国市場の開拓などで、売上収益は対前年同期で増収となりました。

ハードディスク用ガラスサブストレートは、売上収益の大部分を占める2.5インチ製品は、2016年度後半からNAND型フラッシュメモリの供給量が不足したことでHDD (Hard Disk Drive) 総需要が高い状況が続いておりましたが、前第4四半期より供給が改善しHDDの総需要が通常水準に戻ったことで、売上収益は対前年同期で減収となりました。3.5インチ製品は最終顧客であるデータセンターでの採用が進んだことで売上収益は対前年同期で増収となりました。これらにより全体の売上収益は対前年同期で増収となりました。

<映像関連製品>

昨年度、市場縮小が一段落していたデジタルカメラ市場は、スマートフォンの侵食などにより再び減少に転じ、売上収益は対前年同期で減収となりました。しかしながら、新しい用途向け製品等の販売拡大により全体の売上収益は対前年同期で増収となりました。

この結果、当セグメント(情報・通信事業)の売上収益は955億42百万円と、対前年同期で5.7%の増収となりました。セグメント利益は407億19百万円と、対前年同期で12.8%の増益となりました。

(その他)

その他事業については主に、情報システムサービスを提供する事業及び新規事業等であります。当セグメント(その他)の売上収益は21億78百万円と、対前年同期で29.0%の増収となりました。セグメント利益は2億12百万円と、対前年同期で13.7%の増益となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想

当社グループの情報・通信事業の製品群は、その多くが中間生産材・部材であり、当社製品を使用して製造されるハイテク部品、さらにそれらを使用して製造されるデジタル家電製品等最終消費財の景況によってその伸長が大きく左右されます。また、海外売上比率が大きく、為替変動の影響を受ける可能性が大きいことから、長期の連結業績予想が困難であります。

そこで、第1四半期(4月1日より6月30日まで)の決算発表時に第2四半期連結累計期間の連結業績予想を公表し、第3四半期(10月1日より12月31日まで)の決算発表時に通期の連結業績予想を公表しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 注記 | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|-----------------|----|-------------------------|------------------------------|
| 資産 | | | |
| 非流動資産: | | | |
| 有形固定資産－純額 | | 105,493 | 109,454 |
| のれん | | 31,892 | 33,816 |
| 無形資産 | | 36,863 | 37,155 |
| 持分法で会計処理されている投資 | | 1,476 | 1,450 |
| 長期金融資産 | | 15,595 | 43,543 |
| その他の非流動資産 | | 2,302 | 2,363 |
| 繰延税金資産 | | 10,834 | 10,061 |
| 非流動資産合計 | | 204,455 | 237,841 |
| 流動資産: | | | |
| 棚卸資産 | | 71,341 | 75,826 |
| 売上債権及びその他の債権 | | 107,632 | 111,248 |
| その他の短期金融資産 | | 4,955 | 16,462 |
| 未収法人所得税 | | 1,228 | 802 |
| その他の流動資産 | | 15,198 | 22,723 |
| 現金及び現金同等物 | | 245,835 | 252,294 |
| 流動資産合計 | | 446,190 | 479,356 |
| 資産合計 | | 650,645 | 717,197 |

(単位：百万円)

| | 注記 | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|----------------|----|-------------------------|------------------------------|
| 資本及び負債 | | | |
| 資本 | | | |
| 資本金 | | 6,264 | 6,264 |
| 資本剰余金 | | 15,899 | 15,899 |
| 自己株式 | | △10,886 | △9,860 |
| その他の資本剰余金 | | △6,660 | △7,008 |
| 利益剰余金 | | 529,818 | 572,575 |
| 累積その他の包括利益 | | △8,242 | 9,188 |
| 親会社の所有者に帰属する持分 | | 526,193 | 587,057 |
| 非支配持分 | | 4,484 | 4,743 |
| 資本合計 | | 530,677 | 591,800 |
| 負債 | | | |
| 非流動負債: | | | |
| 長期有利子負債 | | 451 | 527 |
| その他の長期金融負債 | | 6,983 | 6,884 |
| 退職給付に係る負債 | | 2,127 | 2,484 |
| 引当金 | | 2,398 | 2,459 |
| その他の非流動負債 | | 956 | 1,008 |
| 繰延税金負債 | | 2,774 | 2,652 |
| 非流動負債合計 | | 15,690 | 16,012 |
| 流動負債: | | | |
| 短期有利子負債 | | 1,901 | 1,906 |
| 仕入債務及びその他の債務 | | 46,555 | 47,530 |
| その他の短期金融負債 | | 643 | 639 |
| 未払法人所得税 | | 12,355 | 12,624 |
| 引当金 | | 1,280 | 1,336 |
| その他の流動負債 | | 41,542 | 45,349 |
| 流動負債合計 | | 104,277 | 109,384 |
| 負債合計 | | 119,967 | 125,396 |
| 資本及び負債合計 | | 650,645 | 717,197 |

(2) 要約四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 注記 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|---------------------------|----|---|---|
| 継続事業 | | | |
| 収益: | | | |
| 売上収益 | | 262,930 | 280,909 |
| 金融収益 | | 799 | 1,161 |
| その他の収益 | | 993 | 1,601 |
| 収益合計 | | 264,722 | 283,672 |
| 費用: | | | |
| 商品及び製品・仕掛品の増減 | | △164 | △1,994 |
| 原材料及び消耗品消費高 | | 41,470 | 45,548 |
| 人件費 | | 61,966 | 65,511 |
| 減価償却費及び償却費 | | 14,397 | 13,164 |
| 外注加工費 | | 2,374 | 2,625 |
| 広告宣伝費及び販売促進費 | | 7,089 | 6,325 |
| 支払手数料 | | 16,164 | 17,127 |
| 減損損失 | | 47 | — |
| 金融費用 | | 523 | 170 |
| 持分法による投資損失 | | 13 | 7 |
| 為替差損益 | | △416 | 1,303 |
| その他の費用 | | 57,845 | 60,261 |
| 費用合計 | | 201,307 | 210,048 |
| 税引前四半期利益 | | 63,416 | 73,625 |
| 法人所得税 | | 11,455 | 13,904 |
| 継続事業からの四半期利益 | | 51,960 | 59,720 |
| 四半期利益 | | 51,960 | 59,720 |
| その他の包括利益: | | | |
| 純損益に振替えられない項目: | | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | | — | 750 |
| 確定給付負債(資産)の純額の再測定 | | — | △4 |
| その他の包括利益(損失)に関する法人所得税 | | △0 | △233 |
| 純損益に振替えられない項目合計 | | △0 | 513 |
| その後に純損益に振替えられる可能性のある項目: | | | |
| 売却可能金融資産評価損益 | | 97 | — |
| 在外営業活動体の換算損益 | | 12,665 | 17,030 |
| 持分法適用関連会社のその他の包括利益持分 | | 4 | △20 |
| その他の包括利益(損失)に関する法人所得税 | | △20 | 41 |
| その後に純損益に振替えられる可能性のある項目合計 | | 12,746 | 17,052 |
| その他の包括利益(損失)合計 | | 12,745 | 17,565 |
| 四半期包括利益(損失) | | 64,706 | 77,285 |

(単位：百万円)

| | 注記 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|-----------------|----|---|---|
| 四半期利益の帰属: | | | |
| 親会社の所有者 | | 52,285 | 59,838 |
| 非支配持分 | | △325 | △118 |
| 合計 | | 51,960 | 59,720 |
| 四半期包括利益(損失)の帰属: | | | |
| 親会社の所有者 | | 64,566 | 77,265 |
| 非支配持分 | | 140 | 20 |
| 合計 | | 64,706 | 77,285 |

(単位：円)

| | 注記 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|------------------|----|---|---|
| 基本的1株当たり四半期利益 | | | |
| 継続事業 | | 134.81 | 157.64 |
| 非継続事業 | | — | — |
| 基本的1株当たり四半期利益合計 | | 134.81 | 157.64 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益 | | | |
| 継続事業 | | 134.47 | 157.32 |
| 非継続事業 | | — | — |
| 希薄化後1株当たり四半期利益合計 | | 134.47 | 157.32 |

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

| | 注記 | 前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日) |
|---------------------------|----|---|---|
| 継続事業 | | | |
| 収益: | | | |
| 売上収益 | | 135,772 | 142,018 |
| 金融収益 | | 340 | 680 |
| その他の収益 | | 306 | 1,098 |
| 収益合計 | | 136,419 | 143,795 |
| 費用: | | | |
| 商品及び製品・仕掛品の増減 | | 282 | △1,533 |
| 原材料及び消耗品消費高 | | 21,134 | 23,310 |
| 人件費 | | 31,758 | 32,950 |
| 減価償却費及び償却費 | | 7,079 | 6,319 |
| 外注加工費 | | 1,234 | 1,326 |
| 広告宣伝費及び販売促進費 | | 3,530 | 3,118 |
| 支払手数料 | | 8,331 | 8,760 |
| 減損損失 | | 47 | — |
| 金融費用 | | 263 | 88 |
| 持分法による投資損失 | | 19 | 8 |
| 為替差損益 | | △52 | 849 |
| その他の費用 | | 29,925 | 30,196 |
| 費用合計 | | 103,551 | 105,391 |
| 税引前四半期利益 | | 32,868 | 38,405 |
| 法人所得税 | | 6,100 | 7,174 |
| 継続事業からの四半期利益 | | 26,767 | 31,231 |
| 四半期利益 | | 26,767 | 31,231 |
| その他の包括利益: | | | |
| 純損益に振替えられない項目: | | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | | — | 716 |
| その他の包括利益(損失)に関する法人所得税 | | — | △221 |
| 純損益に振替えられない項目合計 | | — | 495 |
| その後に純損益に振替えられる可能性のある項目: | | | |
| 売却可能金融資産評価損益 | | 27 | — |
| 在外営業活動体の換算損益 | | 7,812 | 11,926 |
| 持分法適用関連会社のその他の包括利益持分 | | 15 | △5 |
| その他の包括利益(損失)に関する法人所得税 | | △0 | 150 |
| その後に純損益に振替えられる可能性のある項目合計 | | 7,853 | 12,071 |
| その他の包括利益(損失)合計 | | 7,853 | 12,567 |
| 四半期包括利益(損失) | | 34,621 | 43,797 |

(単位：百万円)

| | 注記 | 前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日) |
|-----------------|----|---|---|
| 四半期利益の帰属： | | | |
| 親会社の所有者 | | 27,166 | 31,333 |
| 非支配持分 | | △398 | △102 |
| 合計 | | 26,767 | 31,231 |
| 四半期包括利益（損失）の帰属： | | | |
| 親会社の所有者 | | 34,831 | 43,742 |
| 非支配持分 | | △210 | 55 |
| 合計 | | 34,621 | 43,797 |

(単位：円)

| | 注記 | 前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日) |
|------------------|----|---|---|
| 基本的1株当たり四半期利益 | | | |
| 継続事業 | | 70.11 | 82.53 |
| 非継続事業 | | — | — |
| 基本的1株当たり四半期利益合計 | | 70.11 | 82.53 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益 | | | |
| 継続事業 | | 69.92 | 82.37 |
| 非継続事業 | | — | — |
| 希薄化後1株当たり四半期利益合計 | | 69.92 | 82.37 |

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

| | 注記 | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | その他の 資本剰余金 | 利益剰余金 |
|---------------------------|----|-------|--------|---------|---------------|---------|
| 2017年4月1日残高 | | 6,264 | 15,899 | △6,816 | △5,345 | 506,367 |
| 四半期包括利益(損失) | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | | | 52,285 |
| その他の包括利益(損失) | | | | | | |
| 四半期包括利益(損失)合計 | | | | | | 52,285 |
| 所有者との取引額 | | | | | | |
| 所有者による抛及及び | | | | | | |
| 所有者への分配 | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | △19,084 | △10 | |
| 自己株式の処分 | | | | 1,286 | △354 | |
| 配当(1株当たり45.00円) | | | | | | △17,464 |
| その他の非支配持分の増減 | | | | | △26 | |
| 株式報酬取引 (ストック・オプション) | | | | | 214 | |
| 累積その他の包括利益から利益 剰余金への振替 | | | | | | △0 |
| 所有者による抛及及び 所有者への分配合計 | | — | — | △17,799 | △175 | △17,464 |
| 所有者との取引額合計 | | — | — | △17,799 | △175 | △17,464 |
| 2017年9月30日残高 | | 6,264 | 15,899 | △24,615 | △5,520 | 541,188 |

| | 注記 | | | | | | 親会社の 所有者に 帰属する 持分 | 非支配 持分 | 資本合計 |
|---------------------------|----|----------------------|----------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------|----------------------------|-----------|---------|
| | | 売却可能 金融資産 評価損益 | 在外営業 活動体の 換算損益 | 確定給付 負債(資 産)の純 額の再測 定 | 持分法適 用関連会 社のその 他の包括 利益持分 | 累積その 他の包括 利益 | | | |
| 2017年4月1日残高 | | 106 | △3,629 | — | △1,960 | △5,482 | 510,887 | 4,518 | 515,405 |
| 四半期包括利益(損失) | | | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | | | | 52,285 | △325 | 51,960 |
| その他の包括利益(損失) | | 64 | 12,213 | △0 | 4 | 12,281 | 12,281 | 465 | 12,745 |
| 四半期包括利益(損失)合計 | | 64 | 12,213 | △0 | 4 | 12,281 | 64,566 | 140 | 64,706 |
| 所有者との取引額 | | | | | | | | | |
| 所有者による抛及及び | | | | | | | | | |
| 所有者への分配 | | | | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △19,094 | | △19,094 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 932 | | 932 |
| 配当(1株当たり45.00円) | | | | | | | △17,464 | △34 | △17,498 |
| その他の非支配持分の増減 | | | | | | | △26 | △123 | △148 |
| 株式報酬取引 (ストック・オプション) | | | | | | | 214 | | 214 |
| 累積その他の包括利益から利益 剰余金への振替 | | | | 0 | | 0 | — | | — |
| 所有者による抛及及び 所有者への分配合計 | | — | — | 0 | — | 0 | △35,438 | △157 | △35,594 |
| 所有者との取引額合計 | | — | — | 0 | — | 0 | △35,438 | △157 | △35,594 |
| 2017年9月30日残高 | | 171 | 8,584 | — | △1,956 | 6,799 | 540,015 | 4,501 | 544,517 |

(単位：百万円)

| | 注記 | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | その他の 資本剰余金 | 利益剰余金 |
|---------------------------|----|-------|--------|---------|---------------|---------|
| 2018年4月1日残高 | | 6,264 | 15,899 | △10,886 | △6,660 | 529,818 |
| 四半期包括利益(損失) | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | | | 59,838 |
| その他の包括利益(損失) | | | | | | |
| 四半期包括利益(損失)合計 | | | | | | 59,838 |
| 所有者との取引額 | | | | | | |
| 所有者による抛及及び 所有者への分配 | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | △1 | — | |
| 自己株式の処分 | | | | 1,026 | △461 | |
| 配当(1株当たり45.00円) | | | | | | △17,078 |
| 株式報酬取引 (ストック・オプション) | | | | | 112 | |
| 累積その他の包括利益から利益 剰余金への振替 | | | | | | △3 |
| 所有者による抛及及び 所有者への分配合計 | | — | — | 1,026 | △348 | △17,081 |
| 所有者との取引額合計 | | — | — | 1,026 | △348 | △17,081 |
| 2018年9月30日残高 | | 6,264 | 15,899 | △9,860 | △7,008 | 572,575 |

| | 注記 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | | | | | 親会社の所有者に 帰属する持分 | 非支配 持分 | 資本合計 |
|---------------------------|----|---------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------------------|--------------|--------------------|-----------|---------|
| | | 在外営業 活動体の 換算損益 | 確定給付 負債(資 産)の純 額の再測 定 | 持分法適 用関連会 社のその 他の包括 利益持分 | 累積その 他の包括 利益 | その他の包括 利益 | | | |
| 2018年4月1日残高 | | 378 | △6,652 | — | △1,969 | △8,242 | 526,193 | 4,484 | 530,677 |
| 四半期包括利益(損失) | | | | | | | | | |
| 四半期利益 | | | | | | | 59,838 | △118 | 59,720 |
| その他の包括利益(損失) | | 531 | 16,918 | △3 | △20 | 17,427 | 17,427 | 138 | 17,565 |
| 四半期包括利益(損失)合計 | | 531 | 16,918 | △3 | △20 | 17,427 | 77,265 | 20 | 77,285 |
| 所有者との取引額 | | | | | | | | | |
| 所有者による抛及及び 所有者への分配 | | | | | | | | | |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △1 | | △1 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 566 | | 566 |
| 配当(1株当たり45.00円) | | | | | | | △17,078 | △30 | △17,108 |
| その他の非支配持分の増減 | | | | | | | 0 | 269 | 269 |
| 株式報酬取引 (ストック・オプション) | | | | | | | 112 | | 112 |
| 累積その他の包括利益から 利益剰余金への振替 | | | | 3 | | 3 | — | | — |
| 所有者による抛及及び 所有者への分配合計 | | — | — | 3 | — | 3 | △16,401 | 239 | △16,162 |
| 所有者との取引額合計 | | — | — | 3 | — | 3 | △16,401 | 239 | △16,162 |
| 2018年9月30日残高 | | 909 | 10,267 | — | △1,988 | 9,188 | 587,057 | 4,743 | 591,800 |

(注)IFRS第9号「金融商品」の適用に伴い、当連結会計年度の期首より一部の科目を組み替えて表示しております。詳細は(5)会計方針の変更をご参照ください。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 会計方針の変更

以下を除き、当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、2018年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当第2四半期連結累計期間の表示形式に合わせ、比較情報の要約四半期連結財務諸表を一部組み替えて表示しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より以下の基準を採用しております。

| IFRS | | 新設・改訂の内容 |
|----------|---------------|-----------------|
| IFRS第9号 | 金融商品 | 金融商品に関する会計処理の改訂 |
| IFRS第15号 | 顧客との契約から生じる収益 | 収益認識に関する会計処理の改訂 |

それぞれの経過規定に準拠して適用しております。

上記の基準書については、当第2四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

IFRS第9号「金融商品」

①金融商品の分類と測定

従来「売却可能金融資産」として分類していた資本性金融商品は「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産」に分類されます。要約四半期連結持分変動計算書において、当連結会計年度の期首より「売却可能金融資産」を「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産」に組み替えて表示しております。当社グループでは、経過措置に従って、前連結会計年度の連結財務諸表にはIFRS第9号を遡及適用していません。

②金融資産の減損損失

償却原価で測定する金融資産の減損の認識にあたって、当該金融資産に係る予想信用損失に対して貸倒引当金を認識する方法に変更しております。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」

IFRS第15号の適用に伴い、顧客との契約について、下記の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：企業が履行義務の充足時に収益を認識する

当社グループは、ヘルスケア関連製品、メディカル関連製品、エレクトロニクス関連製品、映像関連製品等の販売を行っております。当該製品に対する支配が顧客に移転し、当社グループの履行義務が充足されると判断される時期に応じて、船積日、顧客に引き渡された時点、または顧客の検収がなされた時点等で収益を認識しております。また、収益は割引、割戻し及び消費税等の税金を控除した金額で測定されます。

IFRS第15号の適用にあたっては、過去の各報告期間の遡及修正は行わず、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

(6) セグメント情報

①報告セグメントの収益源の製品及びサービス

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントであります。

当社グループは、経営理念にて「生活・文化」及び「情報・通信」という事業ドメインを定めており、当該事業ドメインでの継続的な企業価値の増大を実現するため、経営資源の配分に関する意思決定を行い、業績をモニタリングしております。

したがって、当社グループは上記事業ドメインに対応したセグメントから構成されており、「ライフケア」事業、「情報・通信」事業及び「その他」事業の3つを報告セグメントとしております。

「ライフケア」事業は、健康や医療分野において日常生活で使用されるヘルスケア関連製品と、医療行為などに使用される医療機器及び医療材料などのメディカル関連製品を製造・販売しております。当該事業の特徴として薬事法などの承認・認可を必要とし、高度な技術力と信頼性の高い品質管理体制が重要な要件となっております。

「情報・通信」事業では、情報のデジタル化やインターネットの出現により発展した多種・多様なアプリケーション製品群を対象分野としております。現代のデジタル情報・通信技術にとって不可欠なエレクトロニクス関連製品と、光学技術をベースに画像・映像をデジタル情報として取り込むために必要な映像関連製品など、情報・通信分野におけるI/O (Input/Output Device; 周辺機器) 関連製品を幅広く製造・販売しております。

「その他」事業は、主に情報システムサービスを提供する事業及び新規事業等であります。

上記のように決定された報告セグメントにおける主要製品及び役務は次のとおりであります。

| 報告セグメント | | 主要製品及び役務 |
|---------|--------------|---|
| ライフケア | ヘルスケア関連製品 | メガネレンズ、コンタクトレンズ |
| | メディカル関連製品 | 内視鏡、処置具(メディカルアクセサリ)、眼内レンズ、人工骨、金属製整形インプラント |
| 情報・通信 | エレクトロニクス関連製品 | 半導体用マスクブランクス・フォトマスク、液晶用マスク、ハードディスク用ガラスサブストレート |
| | 映像関連製品 | 光学レンズ・光学ガラス材料、レンズモジュール、各種レーザー機器 |
| その他 | | 情報システム構築、業務請負、音声合成ソフトウェア |

②セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる継続事業からの収益及び業績は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

| 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | ライフケア | 情報・通信 | その他 | 小計 | 調整額 | 連結 |
|---|---------|--------|-------|---------|--------|---------|
| 外部顧客からの売上収益 | 170,876 | 90,366 | 1,689 | 262,930 | 0 | 262,930 |
| セグメント間の売上収益 | 2 | 99 | 814 | 914 | △914 | — |
| 計 | 170,878 | 90,464 | 2,502 | 263,844 | △914 | 262,930 |
| セグメント利益 (税引前四半期利益) | 28,583 | 36,092 | 187 | 64,862 | △1,447 | 63,416 |

- (注) 1. 外部顧客からの売上収益の調整額0百万円は、報告セグメントに含まれない研究開発部門によるものであります。
2. セグメント利益の調整額△1,447百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社本社部門、研究開発部門及び海外の地域持株会社に係る損益(関係会社からの受取配当金消去後)△1,447百万円が含まれております。

(単位：百万円)

| 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | ライフケア | 情報・通信 | その他 | 小計 | 調整額 | 連結 |
|---|---------|--------|-------|---------|--------|---------|
| 外部顧客からの売上収益 | 183,189 | 95,542 | 2,178 | 280,909 | — | 280,909 |
| セグメント間の売上収益 | 1 | 40 | 715 | 756 | △756 | — |
| 計 | 183,191 | 95,581 | 2,894 | 281,666 | △756 | 280,909 |
| セグメント利益 (税引前四半期利益) | 34,364 | 40,719 | 212 | 75,296 | △1,671 | 73,625 |

- (注) セグメント利益の調整額△1,671百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、当社本社部門、研究開発部門及び海外の地域持株会社に係る損益(関係会社からの受取配当金消去後)△1,670百万円が含まれております。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(眼科医療機器2社の買収に関する最終契約締結)

当社は、白内障治療用の眼内レンズ(IOL)事業における製品ポートフォリオを拡大し成長を加速させるため、2018年10月18日付で米国のMid Labs社とドイツのFritz Ruck社、及びその関連会社を買収することを決定し、最終契約を締結しました。本買収の取得価額は約192億円であり、当連結会計年度末までに実行の予定であります。本買収が、当社グループの業績に与える影響は軽微となる見込みです。

(中間配当決議)

2018年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・総額17,086百万円
- (2) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・45円
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・2018年11月30日

(注) 2018年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。